

大阪柔整だより

柔道部からのご報告

去る7月31日(日)大阪柔整会館5階大道場において第31回日整全国少年柔道大会・第12回日整全国少年柔道形競技会の大阪代表選手、代表チームの予選会が開催されました。

今年の大会は、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大予防対策を徹底実施し無観客試合で行いました。出場選手の白熱した試合・演技が続き見事5名の選手、形競技会で1組の選手、総勢7名が大阪代表選手として選ばれました。11月20日(日)には柔道の聖地「講道館」で優勝を目指します。先生方の応援よろしくお願いいたします。

本大会は全国少年柔道大会・マルチャン杯・日整全国少年柔道大会と、少年柔道大会における全国三大大会の一つとして子ども達の憧れの大会となっています。本大会には文部科学大臣・厚生労働大臣の国会議員の方々も出席されることがあり、柔道への関心の深さが伺われます。さらに日本での世界選手権開催時も、現職総理大臣が表彰式のプレゼンターに関わったことも記憶に新しい事柄です。また、本年度柔道日本一となった全日本柔道選手権優勝者、斎藤立選手も大阪代表選手で出場し本大会で優秀な成績を修めました。

さて本会の柔道事業においては、豊能・八尾・河南・堺支部少年少女柔道大会を始め、中学生、一般柔道団体優勝大会、また形講習会・昇段審査会を開催し柔道を通じて青少年の健全育成、柔道普及に貢献すると共に、会員の先生方にも柔道昇段を推薦しています。

嘉納治五郎師範のことばに「精力善用・自他共栄」は社会生活の根本原則であると訓えています。私たち柔道整復師も整復術の源である日本古来の武道「柔道」を通じ、また、「柔道」の文字をいただいた国家資格、柔道整復師の矜持を持ち、今後も府民の健康保持・増進に最善を尽くして参ります。

今後とも柔道事業に温かいご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。結びに、新型コロナウイルス感染症収束後には是非とも本会に来館していただき、臨場感溢れる試合、子供たちの一生懸命な姿に熱い声援をお願いいたします。